

[東京工業大学 2015 年前期 5]



n を相異なる素数 p_1, p_2, \dots, p_k ($k \geq 1$) の積とする。

a, b を n の約数とするとき, a, b の最大公約数を G , 最小公倍数を L とし, $f(a, b) = \frac{L}{G}$ とする。

- (1) $f(a, b)$ が n の約数であることを示せ。
- (2) $f(a, b) = b$ ならば, $a = 1$ であることを示せ。
- (3) m を自然数とするとき, m の約数であるような素数の個数を $S(m)$ とする。

$S(f(a, b)) + S(a) + S(b)$ が偶数であることを示せ。

